

大排水の洪水について

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当町内会の運営に、ご理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

22日襲った台風9号により、大排水から道路に溢れ大排水側道路冠水、5班一部冠水しました。対応として、防災課に「予備ポンプ」の稼働を要請したが、対応が悪く、駆けつけた（業者1名、職員2名）が、とても予備ポンプを稼働出来る人数ではない為、急遽町内会から応援（ずぶ濡れに成りながら作業をしてくれました）をだして稼働することが出来た。予備ポンプ（エンジンポンプ）は排水ホースを水門まで繋げる作業がとても大変（継手の重さ40～50キロ）で5～6人いないと設置できない。設置作業をしている間（今回稼働まで2時間半も掛かった）に水かさは増し、会館の物置下迄浸水、ゆりの木通り6丁目交差点浸水で交通止め、セイムス付近は店内迄浸水した。稼働が後30分遅れたら5班の一部は床下浸水したと思われる状況でした。柳瀬川の水位は危険水位を突破、後50センチほどで越水の状況でした。

今回で感じたことは、殆どの方々が危機的状況に気が付いていない、もし越水したら、床上2メートル位上がると思われる。今回の雨の状況から、情報を各自とり対応自責で対応が大事です。今後町内会でも避難連絡、情報の共有化等で課題が出来ました。

フランジを繋ぐ（数十ヶ所締め付ける）

ずぶ濡れでホースをセットする有志（重い）



重く数十ヶ所ボルトで繋ぐ作業



刻々と増水してくる



漸く 1 台が排水開始



危険水位を超えた、後 50 cm で越水



職員も必死で作業



町内会有志もポンプに呼び水作業をする



ポンプ場の周りは冠水、長靴も潜る深さでの作業だった。



2 台目稼働 (2 時間半掛かった)



災害発生時、行政は人手不足となり、ポンプ稼働作業等に多くの人員を割くことはできない「わが町は自分で守る」気概で積極的に応援していきたい。それが被害を最小限に抑えることです。